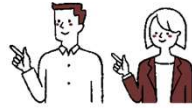


❖「つくるプロジェクト」の取組み

現在、かけがわランド・バンクと静岡理科大学（田井研究室）の学生さんが中心となって、ベンチ等の滞留施設の製作を進めています。



4/28(水) まちあるき

ベンチ等の製作にあたり、掛川城周辺から連雀・中町商店街周辺までをまちあるきし、現地
の状況を確認しました。



5/19(水) 意見交換会

ベンチの配置場所やデザインの検討の視点や、
決め方について話し合いをしました。



6/9(水) 地元の方との意見交換会

地元の代表の方に、まちなかの移り変わりと、
つくるプロジェクトに期待することについてお
話をいただきました。



7/5(月) デザインコンペ @掛川大日本報徳社大講堂

家具デザイナーの藤江和子氏、テキスタイルデ
ザイナーの安東陽子氏を招き、静岡理科大学
田井研究室の学生さんが考えたベンチ等の設置
案の審査会を実施しました。



【デザインコンペのお問い合わせ】

NPO法人 かけがわランド・バンク（代表）理事長 丸山 勲 電話：0537-64-3121

ベンチの製作・設置(9月～(予定))



次号では、社会実験の内容をお知らせします——

かけがわまちなかウォークブル



社会実験を実施します



まちづくりニュース その2

2021年7月16日発行

❖まちなかのまちづくりの方向性

人口が減っていく中でも暮らしやすい都市であり続けるために、「まちなか」は市の中心地として重要な場所です。掛川市では、居心地が良く歩きたくなる「ウォークブル」なまちなかの形成を目指しています。

※ウォークブル (Walkable) とは、「歩く (Walk)」と「できる (able)」を組み合わせた造語で、「歩きたくなる」などの意味で使われます。



今年度は、その第一歩として、まちなかを楽しむための社会実験を実施します！

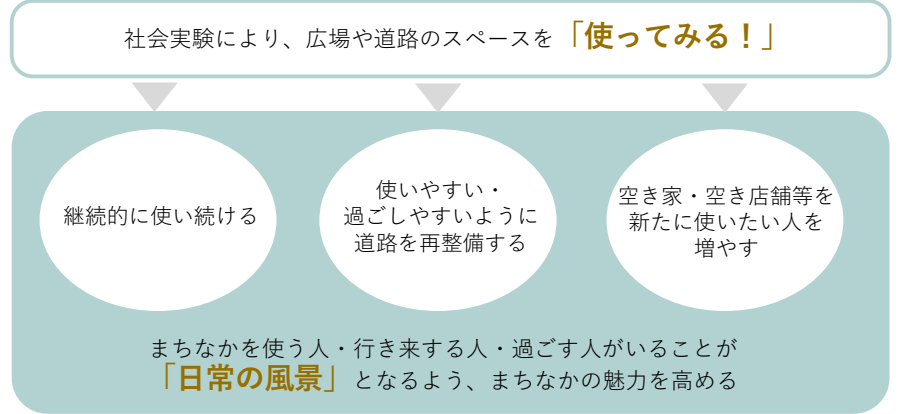
❖ 社会実験から始めるまちづくりの進め方

「使ってみる」から「日常の風景」へ

まちなかを行き来する人や過ごす人を増やすといっても、今すぐに建物を建て替えたりして、お店や事務所を創り出すことはできません。

このため、まずは、使える広場や広い道路空間を上手に使う必要があります。今年度は、どんな使い方をするとまちなかに多くの人が集まり、楽しく過ごせるか検証します。

将来的には、ニーズにあった道路の改良や、まちなかに散見される空き家・空き店舗等の有効活用を促すことで、まちなかの魅力を高めていきます。



「点」「線」「面」へと段階的に広げる

「まちなか」に使えるスペースがあるといっても、まちなか全体のスペースを使いこなすのは難しいことです。

このため、「社会実験によるスモールスタート」から始め、段階的にまちなかの魅力や楽しさを広げる取組を実施していきます。



❖ 今年度の社会実験の概要

今年度は、まちなかの三の丸広場や歩道等を活用し、市民アンケートや高校生アンケートの結果を踏まえて主に2つのプロジェクトを実施します。

なお、各プロジェクトでは、出店者や利用者の意向調査などにより、良かった点や改善点を抽出し、今後のまちづくりに活かしていく予定ですのでご協力をお願いします。

期 間 9月～（予定）

つくるプロジェクト バンチやテーブルを作って置きます！ \ 気軽に使ってください /

ねらい 「どこに」「何を」設置すると人が集まり滞在するようになるか、「どんなデザイン」が使いやすいか、魅力があるか確認します。



つかうプロジェクト キッチンカーなどの仮設店舗が出店します！ \ 是非ご参加ください /

ねらい 新たな目的地によりまちなかへの来客が増え、出店者の募集とまちなかの店舗等にも波及するか確認します。

